

事務局：(財)奈良県緑化推進協会内

〒630-8301 奈良市高畑町 1116-6

TEL 0742-24-0200 FAX 0742-24-2110

メールアドレス: gvnc@nifty.com

ホームページ: <http://homepage2.nifty.com/gvnc>

## ● 主な活動の記録 (4月～6月)

4月9日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

夜来の雨にかかわらず 20 数名が参加。

男性陣は、5月に行う予定の炭焼きのため、予め準備しておいた炭材の窯詰め、午後も引き続き作業し、詰め終わ後は周辺整理を実施。

女性陣は梅の枝を使つての草木染めを行い、布地の素材の違いによる発色の違いを楽しむ。

当日パナソニックエコリレージャパンより山口事務局長他 1 名の訪問があり、活動状況をつぶさに見学された。

当クラブにはパナソニックのOB数名が正会員として常時活動に参加されており、また同団体の前進であるMGVとは、過去交流を含め活動を幾度か共にした実績あり。

3月26日「ふるさとの森」づくり植林祭の参加者から寄せられた東日本大震災支援の義捐金と、当クラブよりの拠出金とあわせ、4万円が最も被害の大きい宮城県災害対策本部へ送られたとの報告があった。

窯の炭材詰め作業



草木染め一出来映えは？



4月16～17日 森林ボランティアリーダー養成と山村交流

## 「緑と水の森林基金」公募事業

奈良県森林ボランティア連絡協議会の主催で、大自然と「ツチノコ共和国」があるロマンの里「下北山村」で開催。林業の活性化、地域資源を活用した特産品の開発や温泉を利用した観光等に力を注いでおられる様子を、研修・交流会を通じて学び、地域の方々との懇親を深めるのが目的。

当クラブ他4団体から約20名が参加、宿舎となる吉野郡下北山村スポーツ公園では“好天と新緑の中に白く咲くこぶしの花”の歓迎をうけた。

初日の間伐体験は、参加者を4班に分け、指導を吉野きたやま森林組合からの5名に加え、大ベテランの川上村「達っちゃんクラブ」辻谷代表にお願いし、間伐体験作業に入った。

当初腰高のへっぴり腰での作業も、伐倒する数を重ねるごとに腰も据わり、安定した姿勢での作業に変わっていくのがよくわかった。

夜の交流会には指導者の方々や副村長さんにもご参加頂き、指導者からは各班の作業についての講評を頂きながら楽しい時間を過ごす事が出来た。

17日は森の名人“野崎さん”に揚水発電で名高い池原ダムをはじめ、前鬼山の桁の巨木(目通し7.4メートル)や不動七重の滝等をご案内頂き、無事研修を終える事が出来た。

残念ながら幻の「ツチノコ」には遭遇できなかった。

間伐研修



講師講評



勉強会



桁の巨木



4月23日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

終日雨ながら、20 数名の参加者は、当初の予定を大幅に変更し、炭窯の修復と周辺の整理整頓、竹炭窯の撤去、倉庫の整理と草刈り器・チェーンソーの整備とに分かれの作業。

5月4日火入れし一週間をかけて焼き上げる炭窯の温度管理を今回より、夜を徹して通して終日行うことになり、昼間・夜間に分けての担当者を決めた。あと29日イオンモール大和郡山で行われる「育樹の集い」にあわせて、(財)奈良県緑化推進協会による苗木配布の手伝いとしての参加者を募った。

4月29日(金) 花の苗の配布 イオンモール大和郡山

同店が一年前開店に際し、駐車場周辺に市民参加で植樹した木々の手入れのため、一般参加者を募って開催された、「第一回育樹の集い」に合わせ、(財)奈良県緑化推進協会による花の苗配布が行われた。本来なら「緑の募金」街頭募金活動と合わせ実施される予定であったが、東日本大震災に配慮し、苗の配布だけとなり、これの手伝いとして、当クラブより10数名が参加。

育樹作業が行われている間、配布される色とりどりのペチュニア・ペゴニアの花の苗1000株を、プラスチック籠を組み立て「緑を育てよう」と記したラベルを貼り付け一株ずつ入れ、育樹作業の終わった参加者を中心に、花の種や、「全国育樹祭」のPRビラと共に手渡し、11時過ぎにはすべて配り終えた。

育樹作業風景



配布準備



配布開始



配布風景



5月4日～10日 炭焼き 矢田山遊びの森

4日早朝に火入れを行い、今回は昼夜を問わず3日間焚き続け、焚き止め後も更に4日間、当番制(夜間は二人体制)で全日温度管理にあたった。一夜だけながら、日頃当地でマウンテンバイクを楽しんでいる2名が初めて参加してくれた。おかげで若手との徹夜の団欒となった。焼き具合がわかる28日の窯出しが楽しみ。

5月14日 定例活動 矢田山遊びの森

新入会一名を含む30数名が参加。午前中は奈良県森林ボランティア連絡協議会による「緑の募金」公募事業である特定事業「間伐と材の利活用」の一環として、ヒノキ林の間伐作業。

この日の活動は「全国育樹祭」協賛事業と位置づけ、県の同祭開催準備室より、吉田室長他3名が参加、間伐作業を体験頂いた。



午後は、保管倉庫づくりのための、間伐材を利用した部材の加工と、自然観察を兼ねての竹の子掘りの二手に分かれて活動。竹の子は先週の雨のお陰かまずまずの収穫。

ロープ懸け



伐 倒



玉 切 り



竹の子掘り



5月21日(土) 高取山共生の森整備・保全事業

「緑の募金」中央事業

高取山国有林内「ENEOSの森」で、大阪国際石油精製(株)の男女社員21名(内新入社員2名)と女兒1名の参加での活動。当クラブ員7名が指導に当たった。

午前中は4班に分かれ、雑木林の整備作業(除伐・枝払い・もやかき)を実施。希望者にはチェーンソー体験を指導。午後は植栽地での下草刈り・ツル切り・施肥と、別途下刈り器体験希望の男女2名への指導。最後に新入社員が指導を受けながら、ヤマザクラ1本を記念植樹し、標柱に名前を書き込み木のそばに打ち込んだ。慣れない作業に加え、多くのギャラリーが色々と囁し立てる中で、かなり緊張しながらも一生懸命に無事作業を終了。

チェーンソー体験



頑張る女兒



下刈り器体験



記念植樹



5月22日(日) 平城宮跡特別保存地区整備 奈良阪町

元明天皇陵西に隣接の県有地に繁茂する竹の除伐と、植栽地の下草刈りを7名で実施したものの、途中雲行きがあやしくなり雨が降り出したが、しばらく作業を続けていたもののがかなり降りが激しくなり、一時雨宿りをし、様子見をしていたが、雨脚は弱まらず、やむなく昼前で作業を切り上げた。

5月28日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

梅雨入りに加え台風の接近にともない、降り続く雨の中、20名弱が参加。予定の活動内容を一部変更し実施。まず今月初旬に焼き上げた木炭の窯出し、並びに袋詰めを行った。今回はしっかりと焼いたのでまずまずの出来具合。他に6月5日の「潤いの森」下草刈り、及び特定事業としての日笠町間伐作業の用具類の準備、同日別途榎原昆虫館での虫まつりイベントでの木工クラフト指導にあたるため、材料の手当てと道具類の準備を行った。雨は一向に止む気配もなく、予報でも午後一層降り続けるとのこと故、活動は午前中で取り止めて解散。

6月5日(日) 特定事業と「潤いの森」養生作業 日笠町

10数名が参加。午前中は特定事業として4月に雑木林で除伐したクヌギの小切り作業を男性陣が、女性陣は隣接の植栽地での下草刈りを実施。

昼食の手作り焼きそばと、山主の城森さん差し入れのおにぎりで力を付けて、午後本年3月にNPO法人瀬戸内オーリーブ基金の助成を受け、里山再生事業として植林した木々の手鎌による下草刈りと、花が咲き、実のなる木(ヤマザクラ・クリ・柿)に堆肥・牛糞等で施肥をし、根元に炭・藁を敷き詰めた。

6月5日(日) 「むし祭り2011」 橿原市昆虫館 クラフト指導

同館主催の恒例となった同祭りにイベント参加された県中部農林振興事務所からの要請を受け、クラフト指導として当クラブ員4名が参加。同祭りにちなみ、木の実・殻や小枝を使っての昆虫づくりと、竹を使ったジージーゼミづくりを行った。

参加者はまず同事務所が用意された自然や森、生き物に関するクイズに挑戦。パネルを参考にしながら回答を引き出し、採点してもらってからクラフトに取り組んだ。午前中の出足はやや鈍かったものの、屋前頃からかなり混み出し、一時は5~6名の子供を一人が同時に指導する場面もあった。その後はひきもきらず、終了の4時近くになっても希望者が来る状態。この日、同祭への参加者総数は九百数十人とのこと。

6月10日(金) 環境出前講座 木エクラフト指導

奈良市地球温暖化対策地域協議会(NEW) 通称「ナラエコ・エコの和」の各加盟団体が、学校・幼稚園・公民館等に出向き、やさしく・楽しく環境を学べるプログラムを順次提供する環境出前講座。メンバーである当クラブは、佐保地区バンビーホーム(奈良市学童保育所)で小学生20数名と先生方に集ってもらい、森の恵みであるリョウブを輪切したものを台に小枝、木の実・殻等を使ったクラフトを会員5名が指導。

本講座の趣旨と作り方の説明の後、子供たちは見本を参考にアイデアを考えながら材料を選び、製作に取り掛かった。バイキンマン、アンパンマン他次々とユニークな作品が出来上がり、アツという間に終了の時間となった。

説明を聞く



何作ろうかな？



製作中



自慢の作品を手に



6月11日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

本日も雨のため、参加者は10名にとどまった。草木染めとクラフト用の材料づくりを実施。

草木染めは、女性を中心に、男性は火の番。今回は蘇枋(スオウ=インド・マレー原産の豆科でトゲのある小高木)を使って、白地綿の大判のハンカチと小物入れに絞りをかけて染めると、きれいな淡いピンク色に仕上がった。参加者は作品一品をもらった。草木染め以外は、今後のイベントの際に木エクラフトで使う材料として、リョウブの輪切りを実施。

昼食後、後片付けし解散。理事長以下5名は、活動の際生ずるゴミの処理につき、情報館員と打合せをもった。

6月25日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

朝から夏日の様相で、風もなく、非常に蒸し暑い厳しい一日となったが、新入会一名を含め30名強が参加。

久しぶりの暑さの中、万葉の森・天平の森での下草刈りのため、植栽地であるみんなの森の最も奥にある作業地へ道具を持って移動。現地へ到着すると一仕事を終えたような気分で一休みの後、適宜休憩を取りながら作業を進めた。午後は子ども交流館周辺のツツジの剪定を行った。